

54 Tables as User Interface for Logic Programs

M.H.M.Cheng, M.H.van Emden, J.H.M.Lee (Univ. of Victoria, カナダ)

発表要旨

スプレッドシートはコンピュータの調査利用と二次元インターフェースという2つの利点を持っている。スプレッドシートだけでなく（リレーショナル・データベースの意味における）表もこれらの価値のある特徴を持っている。スプレッドシートと表の間の最も明らかな違いを与えて両者を比較し、共通の一般化を提案する。論理プログラムに対するユーザー・インターフェースとして、表が問題のデータフロー・モデルから導出することができることを示す。これをタプルパイプ TuplePipe と呼び、プロログがリレーショナル・データベースと境界をなすときに必要とされるバッファリングを供給する。4つの問題のモデルを許す論理プログラミングの標準的な具現であるタピログ Tupilog についての考察を行う。

質疑応答

質問：あなたのユーザー・インターフェースがデータベースの問題に対して非常に良いということは分かったのですが、一般目的の問題解決の場合に対してはどうなのでしょう。

回答：最初に言いましたように、この論理プログラム・システムはデータベース・アプリケーションのためのものです。一般の種類の問題解決に対しては論理プログラムに対するユーザー・インターフェースとしてスプレッドシートを使うことになるかもしれません。

質問：スプレッドシートは現在主にデータベースに対して使われているのでしょうか。

回答：いいえ、実際には論理プログラムに対するユーザー・インターフェースとしてスプレッドシートは制約条件を助長しています。

質問：スプレッドシートは制約条件、表現のすべての領域をカバーしているのでしょうか。その方法では表現できない制約条件がたくさんあると思うのですが。

回答：しかし今のようにプロログによって供給されるユーザー・インターフェースが出てくることを願います。